



もくじ

- 2 >>> 理事長あいさつ
- 3 >>> 自治会長×所長対談
- 4 >>> こねこね工房へようこそ
- 5 >>> いつつ屋根の下・研修報告
- 6 >>> もみじ作業所まつり報告・輝け!ニューフェイス
- 7 >>> 夢フェスティバル報告・きゅうしょく
- 8 >>> わたしの大切にしたいもの・行事日誌・寄付



社会福祉法人もみじ福祉会

第一・第二もみじ作業所(生介) 第三もみじ作業所(就緒B)
 福祉ホーム 夢トピア/ハッピーホーム
 グループホーム たんぽぽ/夢トピア/ドリームハウス/
 ハッピーホーム/きらきら
 もみじヘルパーステーション 夢トピア
 障害者生活支援センター めーぶる
 放課後対策事業 のびのび・わくわく

〒730-0823 広島市中区吉島西2-1-24
 TEL:082-243-0331 FAX:082-243-0497
 HP:fukushi-momiji.or.jp

もみじ福祉会の目指すもの(骨子)

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4. これらの実践の要となる、職員の、障害や発達障害、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。

「私の大切にしたいもの」は、ちょっと変に聞こえるかもしませんが、「やっぱり不便な生活です。2年前、ショッピングモールをはじめ、あらゆるお店や施設にアクセスしやすい広島市内から家族で妻の実家やある江田島市に移住しました。職場までバイクと船で片道1時間半、島には大型ショッピングモールもなく、カラオケボックスも無くマックもないです。ウーバーイーツなんてほとんどない…。先日は、ケンタッキーがどうしても食べたくて片道40分かかるお店まで車を走らせました(汗)一見、とっても不便な生活に思いますがね。自分でも移住した時には半年ぐらいで島生活に飽きたと思っていました。しかし、2年経った今もまんざらでもない感じです。

大きなショッピングモールは無いけど、お店のおばちゃんとの会話があります。カラオケボックスは無いけど、おばちゃんがやつてカラオケスタンドで「ミニミニディ」があります。マックは無いけど、キャンプ用コ

ンロとコーヒーセットを持ってバイクで走ればどこでも天然カフェになります。夜20時になると殆どのお店は閉まるけど、綺麗な星空と虫の音色が聞こえできます。夜、遊びに行くところは無いけど、家族の団らんがあります。

ちょっとと不便な生活ですが、私にとっては広島市内で暮らしていたときよりも何か生活の豊かさを感じています。自分が置かれた環境に不満を感じたとしても、その中でどのように楽しもうとするのか、人それぞれだけど私はこのちょうどいい不便な生活をもうと楽しみたいと思います。

江田島の人が読んだら怒られるかもしれないで、いいとこを軽く紹介とにかく景観がいい! 鬼が自印のお店に賞味期限5分のスイーツがあり、めちゃ旨! 人が作ったかい! ご近所さんとの物々交換がある! フォローになつてないかも…。

私の
大切に
したいもの

第3回

後援会会費納入者

(2025年7月1日～10月31日)

個人会員

中村 美智子
 丸山 勝子
 池田 光
 坂井 勝則
 川本 寛子
 坂 ちや子
 板倉 妙子
 佐藤 雅幸・ちさ
 寄本 克枝
 高畠 正直・優子
 山本 広樹
 もみじ作業所家族会
 深山 静
 田邊 豊
 観音新町内会
 南観音女性会

団体会員

善正寺
 ひかり協会職員労組
 広島分会

ご寄付ありがとうございました。

お詫びと訂正
 「がんばろうや!!」第101号に掲載しました後援会会費納入者(2025年3月1日～6月30日)につきまして、お名前との間違がありました。お詫びして訂正いたします。

誤: 河野 裕 正: 河野 啓

寄付一覧

(2025年7月1日～10月31日)

ヤマトナデシコ(匿名)4件
 株式会社カンサイ
 河政建設株式会社
 丸山 勝子
 渡邊 浩一
 中村 昭
 広島グリーンヒル病院
 木戸副院長
 もみじ作業所家族会
 深山 静
 田邊 豊
 観音新町内会
 南観音女性会

行事日誌

8月	4日(火)、6日(水) 原水禁世界大会バザー参加 6日(水) 新任職員研修③ 6日(水)～9/11日(水) 広島文教大学 ソーシャルワーク実習II 8日(金) 第一・第二もみじ作業所 海水浴 9日(土)～10日(日) 全国障害者問題研究会 第59回全国大会 広島2025
9月	12日(火) 第三もみじ作業所 ボウリング大会 18日(月)～29日(金) 広島文化学園短期大学 保育実習 18日(月)～22日(金) 武蔵野音楽大学 介護等体験実習 21日(木)～22日(金) 広島特別支援学校 職場体験実習 25日(月)～29日(金) 県立広島大学 介護等体験実習
10月	1日(月)～6日(土) 県立広島大学 介護等体験実習 10日(水) 新任職員研修④ 20日(土) 第29回もみじ作業所まつり
11月	1日(水) 新任職員研修⑤ 4日(土) 中堅職員研修③ 7日(火)～10日(金) 第一・第二もみじ作業所 ボウリング大会 11日(土) 夢フェスティバル 16日(木) 第一・第二もみじ作業所 防火訓練 17日(金)～18日(土) 第48回きょうされん全国大会in奈良 22日(水) GH地域連携推進会議 25日(土) 第三もみじ作業所日帰り旅行 30日(木) 第156回理事会
12月	1日(土) 第三もみじ作業所 地震避難訓練 5日(水) 新任職員研修⑥ 17日(月)～29日(土) IGL医療福祉専門学校 介護実習 27日(木) 矯正研修所 体験実習

2026年
理事長挨拶

新年あけまして
おめでとうござります



社会福祉法人 もみじ福祉会
理事長 井上 一成

A photograph of a man in a dark suit and a woman in a wheelchair holding a green banner. The banner has the text '2026年 来年1年正月' (2026 New Year) and features two cartoonish red and black dog-like characters. They are standing outdoors with a fence and buildings in the background.

活に生きづらさと大きな不安をもたらしました。これらが所得の低い障害のある人の生活をさらに生きにくくしていることは、マスコミ報道やきょうされん（全国組織の障害者団体）の実態調査でも明らかになっています。そして残念ながら福祉介護、医療の事業所の閉所も過去最高となっています。

もみじ福祉会もできるだけ利用者への負担増を求めるように、物価高騰に対する支援金を今までいましたが、ホームにおいては一部利用代の値上げをお願いせざるを得ない状況となりました。

より7万8千円低いと言われて、いる賃金の低さが大きな要因の1つとされています。その原資となる国の報酬が上がらない中、最低賃金の引き上げが過去最高水準で実施されました。小規模の事業所ほど厳しい運営を迫られています。また、夜勤のある生活支援の職場を希望する人はさらに少なく、人あっての福祉の仕事に少なく、利用者へ支援が十分行き届かないところが増え、じくじたる思いをしております。

修に積極的に参加しつつ、内部の研修にはこれまでの新任職員研修や中堅職員研修に管理者研修に加え、オンラインの職員研修サポート、ターゲットカレッジを導入し、全職員の研修にも力を入れています。

今年無認可作業所開所から46年を迎え、利用者の最高齢者は71歳となり、高齢化、重度化の課題が大きくなつてきました。ホームでの生活でも、毎日のようにある通院同行、訪問看護、訪問リハビリ、訪問マッサージ、訪問歯科など医療との連携がますます重要となっています。当然施設環境の改造、改築も求められ、支援の質や量が大きく変わつて

ないことが増えていく中でも、
本人がどのように生きたいかを
聞き取るため、わたしノート
(エンディングノート)作成に昨年
から取り組み始めています。

課題はたくさんありますが、
多くの市民の皆様のご支援をい
ただき、ここまで歩んでこられた
ことを感謝し、今後ますます
健全な運営組織づくりを目指
していきたいと思います。

どうぞ引き続きご支援のほど
よろしくお願ひいたします。



活に生きづらさと大きな不安をもたらしました。これらが所得の低い障害のある人の生活をさらに生きにくくしていることは、マスコミ報道やきょうされん（全国組織の障害者団体）の実態調査でも明らかになっています。そして残念ながら福祉、介護、医療の事業所の閉所も過去最高となっています。

もみじ福祉会もできるだけ利用者への負担増を求めるようになりながら事業運営に取り組んに、物価高騰に対する支援金を取りながら事業運営に取り組んでもいましたが、ホームにおいては一部利用代の値上げをお願いせざるを得ない状況となりました。

特に福祉業界は、全産業平均

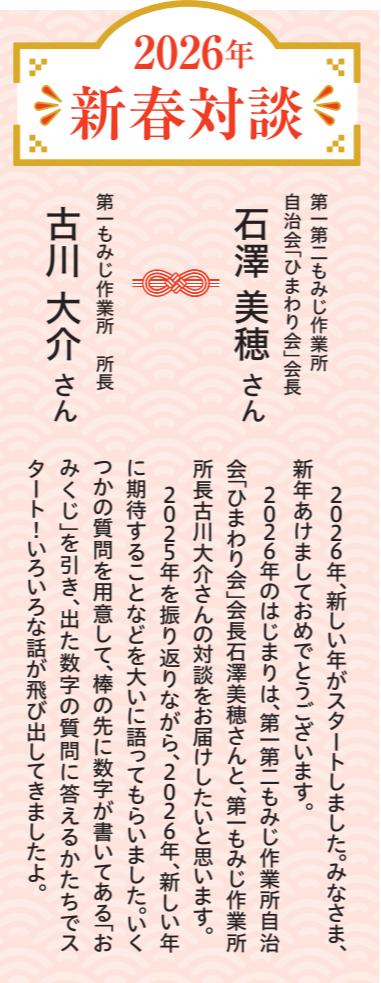
より7万8千円低いと言われています。その原資となる国の報酬が上がらない中、最低賃金の引き上げが過去最高水準で実施されました。小規模の事業所ほど厳しい運営を迫られています。また、夜勤のある生活支援の職場を希望する人はさらには少なく、人あっての福祉の仕事に少くないところが増え、じくじくから取り組みを進めています。学校訪問なども行い、できるところから人材育成にも力を入れ、外部研

修に積極的に参加しつ、内部の研修にはこれまでの新任職員研修や中堅職員研修に管理者研修に加え、オンラインの職員研修サポート、ターズカレッジを導入し、全職員の研修にも力を入れています。今年無認可作業所開所から46年を迎え、利用者の最高齢者が71歳となり、高齢化、重度化の課題が大きくなつてきました。ホームでの生活でも、毎日のようにある通院同行、訪問看護、訪問歯科など医療との連携がますます重要となつています。当然施設環境の改造、改築も求められ、支援の質や量が大きく変わっています。年齢を重ねてでき

ないことが増えていく中でも、本人がどのように生きたいかを聞き取るため、わたしノート（エンディングノート）作成に昨年から取り組み始めています。

課題はたくさんありますが、多くの市民の皆様のご支援をいただき、ここまで歩んでこられたことを感謝し、今後ますます健全な運営組織づくりを目指していきたいと思います。

どうぞ引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



<p>Q:『2026年、挑戦してみたい』とはなんですか?』</p> <p>石澤:2025年にあたらしい」といっぽいしたからなあ…。2026年も同じようにやつていつたらきっといろいろなことにチャレンジできるんじゃないかな。とりあえず2026年も作業所まつりの実行委員長をやってみたいです。あとは元気があれば大丈夫かな(笑)</p> <p>えつ?古川さんはなにがあるんですか?挑戦してみたいこと?</p> <p>古川:そうですねえ…。挑戦したいこと…。いろいろ勉強したいと思います。まだまだわからぬこと</p>	<p>Q:『2026年、所長におねがいしたい』とはありますか?』</p> <p>石澤:今から「所長交渉」のアンケートを仲間みんなにとるので一緒に考えてほしいです。</p> <p>※注 所長交渉 每年自治会ひまわり会で取り組んでいた仲間の困りごとやねがいをまとめて、年に1回自治会と所長が交渉のテーブルにつきます。</p> <p>古川:ハッピーホームの所長さんには何かおねがいしたいことがありますか?</p> <p>石澤:作業所まつりの日に、また泊まらせてほしい…つておねがいしたい。それと勤務の関係でな</p>
---	---



Q:『2025年でいちばん楽しかったことは何ですか?』

古川:新年あいおいでおめでたいなあ。石澤:おめでと(アハ)やります。古川:では、さうそく2025年にちなんだ質問からはじめていきましょ。

古川:みんなでやれたことがたのしかったんですね。また出来たらしいですね。

石澤:いっぱいありまするなあ。ハッピーホームでやったバーベキューかな。みんなでサンマを焼いたり、マシコマロを焼いたり…。おいしかったたのしかった。

作業所で言つたらどうですか?

石澤:舟入小学校との交流会がたのしかった。小学生のみなさんがゲームを考えてくれて、いつしょにできたのがたのしかったなあ。

古川:石澤さんは、自治会長になつてはじめての交流会でした。が、会長として参加したはじめての交流会はどうでした?

石澤:新しい気持ちで参加しました。あいさつとかもあつたし、緊張しました。

Q:『自治会長をやつてみて、どうでしたか?』

石澤:ドキドキしたけど、みんなが支えてくれるからうれしかった。橋本さん(元自治会会長)に「がんばるね」と伝えたら「石澤さんないやめるよ」と言つてもらつて、うれしかった。

作業所まつりの実行委員長もやりました。雨で残念だったけど、たくさんお客様さんが来てくれてうれしかったなあ。

※注 石澤さんは企画販売グループで主に商品の伝票を書く仕事をされています。
とくに2025年の夏は本当に暑かったから、いつもだつたら売り上げが落ちる10月が今までいちばんTシャツが売れたんです！すごかった。来年はノースリーブを作ろうかーって張り切ります(笑)
・たくさん売れて、伝票書きが忙しくなつて大変、だつたけど、うれしい悲鳴ですね(笑)
では、次は2026年にちなんだ質問、いつてみましょ。

第29回 もみじ作業所まつりを開催しました！

9月20日(土)に第29回もみじ作業所まつりを開催しました。

オープニングは、もみじ作業所の仲間と広島商業高校応援部さんのコラボ企画、広商応援部さんが振付を考えてくださった♪それゆけカーラ♪で華々しくスタートしました。第1部では吉島学区よしの会さん、慈光幼稚園さん、フランチーム力ピリナさん、琉冥太鼓さんが今年も素敵なパフォーマンスを披露してくださいました。今年は、音楽クラブでもお世話になつていて「がみさん」と山上茂典さんの演奏タイムもあり、いつもとは少し違つた雰囲気のステージとなりました。そして第2部はみなさんお待ちかねの神楽上演。三次市布野町から駆けつけてくださいました作業所まつり初登場の横谷神楽団さんの神楽も迫力満点でした。作業所内にステージを設営したため、神楽の時間帯には入りきれないほどのお客様が詰めかけてくださいました。

A group of people are performing on stage. In the foreground, a man with grey hair is seen from the side, wearing a light-colored striped shirt. Behind him, a man in a white t-shirt and a man in a blue t-shirt are playing guitars. To the left, a man in a light blue t-shirt is playing a ukulele. In the background, a yellow sign with Japanese text and a date (15-09) is visible. The stage is set with blue curtains and a yellow sign.

A collage of three photographs from a Japanese street food festival. The top photo shows a person in a white bear costume at a stall. The middle photo shows a street view with a blue banner for 'Kameyama' and a white banner for 'Kameyama 15th Anniversary'. The bottom photo shows a food stall with a white tent and a red van.

あらためて、作業所まつりでの神楽を地域の方々も楽しみにしてくださっていることを実感しました。ステージだけでなく、出店や遊びのコーナーも大盛況でした。昨年から実行委員会に入つてくださつてある広島文教大学の学生さんたちはベビーカステラを販売してくださいました。キッチンカーのジラフクレープさんは、最高で2時間半待ちという状況に「こんなイベントは初めてです。」と驚かれていました。また、今年の新企画として、作業所の隣にあるハッピーホームの見学会、相談支援事業所めーぷるによる相談会も行いました。もみじ福祉会には、はたらく場だけでなく生活の場も相談の場もあります。

地域の方々、120名のボランティアさんに支えていただき29回目の作業所まつりを大盛況のうちに無事終えることが出来ました。携わつてくださつた皆様、本当にありがとうございました。来年は第30回という節目の回となります。みなさま、第30回もみじ作業所まつりでお会いしましょう。

第18回 モフェステイバルを開催しました！

今年で第18回目となる夢フェスティバルを10月11日(土)に開催しました。当日は天候にも恵まれ例年よりたくさんのお客様に来ていただきました。もみじ福祉会の取り組みを地域のみなさんに発信することができたのでは

夢フェスティバルでは楽しい事が満載でした。その中でも野外ステージと出店はとても好評でした。野外ステージでは近隣の山陽高校吹奏楽部による演奏や法輪保育園の園児による歌のパフォーマンス、もみじの仲間による歌や太鼓ステージなど盛りだくさんな内容でした。ステージの最後には恒例の抽選会を行い、お客様に豪華な景品をお渡しする事が出来ました。

出店ではラーメン、焼きそば、カレーなどラ インナップも充実していました。自主製品販 売コーナーでは、もみじ作業所をはじめ、作 業所で作っている自主製品を販売しました。 「被災した地域の復興のために何かできるこ とをしたい」という仲間からの想いから、募金 箱も設置しました。

近隣に住まわれている地域の方や仲間の 家族のみなさん、他にも福祉関係の同業者の 方々やもみじ作業所以外の障害のある方も 遊びに来られていました。また学生さんから 高齢者の方まで幅広い層の方にボランティア としてご協力いただき、職員と共に夢フェス

